

物語のしかけをさがそう

～物語のしかけをさがして、クイズ大会をしよう～

小学校 3年 国語

「ゆうすげ村の小さな旅館」

資料の活用・読書指導

ねらい

○不思議な出来事が起きる本を読み、物語のしかけを見つけながらお話を楽しむ。

○不思議な出来事を確かめ、物語のしかけを答えにしたクイズを解いたり、しかけクイズを作ったりできる。

学 習 展 開

- ① 物語の中で起きた出来事を確かめ、物語のしかけクイズを解くことを知る。
- ② 司書教諭作成の「ゆうすげ村の小さな旅館」のしかけクイズを解き、やり方を理解する。
- ③ 不思議な出来事が起きる本を読み、しかけを見つける。(一定期間)
- ④ 出題する本を学校司書が読み聞かせする。
- ⑤ 司書教諭の用意したしかけクイズを解く。
- ⑥ クイズの答えを確かめる。
- ⑦ 問題用紙をもらい、自分たちもしかけクイズを作ってクイズ大会をする。
- ⑧ ふり返りをする。

物語のしかけクイズ 1/9-11

3年2組(モデル)

○紹介したい物語 (カップのパン)

[つるばら村の三日月屋さん]

○作者名 (茂市久美子)

しかけの人物

くるみさんの「三日月屋」にパンの注文をした人がいます。さて、それはだれでしょう？

○ヒント① キュウリサンドイッチの注文

② バターのかわりにみそをぬってほしい。

③ キュウリがたくさんなほどうれしい。

④ 梅雨の雨に感謝して雨ふり音頭をおどる。

⑤ パン代は梅。

実は

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、不思議な出来事が起きる本を複数揃え、ブックカートに置き、一定期間読書させる。
- 司書教諭は、担任と学習計画や物語のしかけの扱いを打ち合わせ、しかけクイズを複数作る。
- 問題を出すとき、学校司書がしかけのある部分を中心に、読み聞かせをする。
- 司書教諭は、答えにたどり着きやすい段階を追ったヒントを工夫する。

★指導のポイント

- ◆ 教科書教材「ゆうすげ村の小さな旅館」のしかけを学習した後が良い。
- ◆ しかけをクイズにしやすい不思議な物語としにくいものとあるので、見分けることが求められる。
- ◆ 単純なクイズのヒントでなく、しかけに関わるヒントにする指導を徹底したい。

資料

「白いぼうし」あまんきみこ(ポプラ社)、「ねこじゃらしの野原」安房直子(講談社)、「ゆうすげ村の小さな旅館」「つるばら村のパン屋さん」「つるばら村のレストラン」「つるばら村のくるみさん」「つるばら村の三日月屋さん」茂市久美子(講談社)等